

笠間市

新型コロナウイルス感染症対策 記録集

2020.1-2021.12



2022年3月
茨城県笠間市

目次

1 | 新型コロナウイルス感染症について

(1) 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1
(2) 全国の状況	2
(3) 茨城県の状況	3
(4) 笠間市の状況	4

2 | 笠間市の感染症対策について

(1) 市の対策体制	5
(2) 市の対応	
① 施設等の休館・利用停止について	6
② 学校等の対応	7
③ 感染症対策を徹底したうえで開催された主なイベントなど	7
④ その他	8

3 | 各種支援について

(1) 国・県の支援策	
① 特別定額給付金事業 (国)	9
② 事業者向け給付金	9
③ 特別給付金	9
(2) 市の支援策	
① 生活支援 (感染予防)	10
② 経済的支援 (主なもの)	12
③ 新型コロナウイルス感染症対策基金を設置	14
④ その他 (主なもの)	15
(3) 個人や企業、団体等からの寄附	16
(4) 国際交流の中での取り組み	17

4 | 市内事業者等の対応について

(1) 市内事業者等の取り組み	18
(2) 営業時間短縮等に対する市内飲食店舗の感染防止対策見回り	19

5 | ワクチン接種

(1) 接種状況(2021年12月末現在)	20
(2) 集団接種	22
(3) 個別接種	23
(4) 県大規模接種	23
(5) 市内企業(職域接種)	23
(6) その他	24

6 | 新しい生活様式の中での取り組み

(1) 一人ひとりの基本的感染対策	25
(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式	25
(3) 日常生活の各場面別の生活様式	26
(4) 働き方の新しいスタイル	26

1 新型コロナウイルス感染症について

(1) 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)

「COVID-19」という病気を引き起こす病原体の名称は「SARS-CoV-2」であるが、日本ではもっぱら病気の名前は「新型コロナウイルス感染症」、病原体の名称は「新型コロナウイルス」と呼ばれている。SARS-CoV-2は2019年に中国武漢市で発見され、全世界に感染拡大した。ウイルスの遺伝子配列からコウモリのコロナウイルスを祖先にもつと考えられるが、一部の配列がセンザンコウのコロナウイルスと似ているという報告があり、過去に2種類の動物コロナウイルスが遺伝子組み換えを起こした可能性が考えられる。実際にどのような経緯でこのウイルスが人類に感染するようになったのかは明らかになっていない。2021年9月までに世界で感染が確認された人は2億2千万人、死亡者は455万人であり、以前のSARSやMERSとは伝播性と病原性において明らかに異なるウイルスであるといえる。ヒトからヒトへの伝播は咳や飛沫を介して起こり、特に、密閉・密集・密接（三密）の空間での感染拡大が頻繁に確認されている。高齢者や心臓病、糖尿病等の基礎疾患を前もって患っていた人では、重症の肺炎を引き起こすことが多いが、20歳から50歳代の人でも呼吸器症状、高熱、下痢、味覚障害等、様々な症状が見られる。一方、健康な人での重症例や死亡例も稀にはあるが確認されている。子供への感染も頻繁に確認されるが、軽症もしくは不顕性であり、子供を介した高齢者への伝播が問題視されている。有効性の高いワクチンが次々と開発され、前例のないスピードで人への接種が実現したが、その中でも新しい技術で作られたmRNAワクチンの普及が急速に実現したことは、人類の感染症対策における大きな前進といえる。今後このウイルスは人類に定着して蔓延することが予想される。他の4種類の風邪のコロナウイルスと同様に、人類と新型コロナウイルスが共存できるようになるためには、人類の方でワクチン接種率を高め、ウイルスに対する抵抗力をもった集団を作っていく必要がある。

(参考) ウイルス学的特徴

電子顕微鏡で観察されるコロナウイルスは、直径約100nmの球形で、表面には突起が見られる。形態が王冠“crown”に似ていることからギリシャ語で王冠を意味する“corona”という名前が付けられた。ウイルス学的には、ニドウイルス目・コロナウイルス亜科・コロナウイルス科に分類される。脂質二重膜のエンベロープの中にNucleocapsid (N) 蛋白に巻きついたプラス鎖の一本鎖RNAのゲノムがあり、エンベロープ表面にはSpike (S) 蛋白、Envelope (E) 蛋白、Membrane (M) 蛋白が配置されている(図1)。ウイルスゲノムの大きさはRNAウイルスの中では最大サイズの30kbである。遺伝学的特徴から α 、 β 、 γ 、 δ のグループに分類される。HCoV-229EとHCoV-NL63は α コロナウイルスに、MERS-CoV、SARS-CoV、HCoV-OC43、HCoV-HKU1は β コロナウイルスに分類されている(図1)。

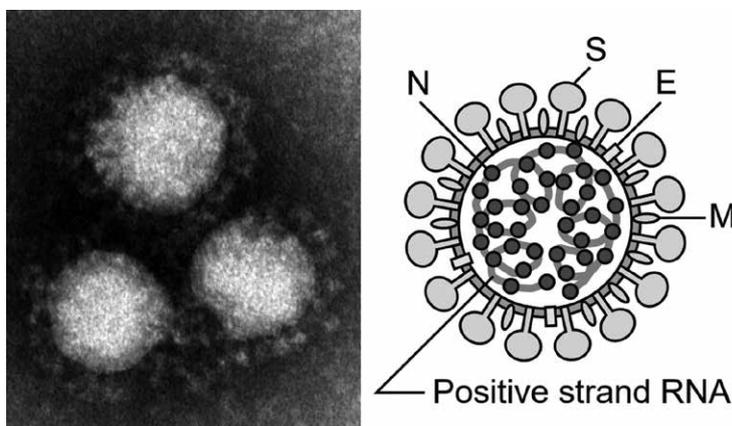


図1

※国立感染症研究所感染症疫学センターホームページから抜粋

(2) 全国の状況

2020年	1月15日	新型コロナウイルス感染症患者を国内で初確認
	2月13日	新型コロナウイルスによる死者を国内で初確認
	3月11日	世界保健機関 (WHO) がパンデミック (世界的大流行) を宣言
	3月24日	東京オリンピック・パラリンピックの1年延長を決定
	4月7日	7都道府県に「緊急事態宣言」を発令
	5月26日	「緊急事態宣言」をすべて解除
	7月22日	「GoToトラベル」東京を除外し開始
	11月18日	全国の1日の感染症患者数が初めて2,000人を超える
	12月28日	「GoToトラベル」を全国で停止
2021年	1月7日	1都3県に2度目の「緊急事態宣言」を発令
	1月13日	2府5県を「緊急事態宣言」の対象地域に追加
	2月3日	時短営業や入院の拒否に過料を科する改正インフルエンザ等対策特別措置法と改正感染症法が成立
	2月14日	厚生労働省が米ファイザーのワクチンを承認
	2月17日	医療従事者へのワクチン接種開始
	3月22日	「緊急事態宣言」を全面解除
	4月12日	高齢者へのワクチン接種開始
	4月25日	東京と関西の計4都府県に3度目の「緊急事態宣言」を発令
	4月26日	政府がデルタ株の国内感染事例を発表、累計死者数1万人を突破
	5月12日	「緊急事態宣言」の対象を、愛知・福岡を含む6都府県に拡大
	5月16日	「緊急事態宣言」の対象を、北海道・岡山・広島を含む9都道府県に拡大
	5月21日	厚労省が米モデルナと英アストラゼネカのワクチンを承認
	5月23日	「緊急事態宣言」の対象を、沖縄を含む10都道府県に拡大
	6月21日	沖縄を除き3度目の「緊急事態宣言」を解除、ワクチンの職域接種開始
	7月12日	沖縄に発令中の「緊急事態宣言」を東京にも拡大
	7月23日	東京オリンピック開幕
	8月2日	「緊急事態宣言」の対象を6都府県に拡大
	8月20日	「緊急事態宣言」の対象を13都府県に拡大 (茨城県を含む)
	8月24日	東京パラリンピック開幕
	8月27日	「緊急事態宣言」の対象を21都道府県に拡大 (茨城県を含む)
	9月13日	宮城と岡山の「緊急事態宣言」を解除し、対象を19都道府県に縮小 (茨城県を含む)
	10月1日	「緊急事態宣言」をすべて解除
	11月29日	政府がオミクロン株の急拡大を受け、外国人の新規入国を原則禁止と発表
	11月30日	空港検疫でオミクロン株の感染症患者を国内で初確認
	12月1日	ワクチンの3回目接種開始
	12月31日	国内の感染症患者数が約173万人となる

(3) 茨城県の状況

2020年	3月 17日	茨城県内で初の新型コロナウイルス感染症患者を確認
	5月 7日	現状のStageを4段階で判断する「茨城版コロナNext（コロナ対策指針）」を策定
	7月 3日	「茨城版コロナNext」の改定
	7月 31日	「茨城版コロナNext」の対策StageをStage3に強化
	9月 8日	「茨城版コロナNext」の対策StageをStage2に緩和
	11月 11日	「茨城版コロナNext」の対策StageをStage3に強化
	11月 17日	県内で感染症患者数が1,000人を超える
2021年	1月 15日	「県独自の緊急事態宣言」の発令、「茨城版コロナNext」対策、Stage4に強化
	2月 5日	「県独自の緊急事態宣言」の継続、「茨城版コロナNext」判断指標改定、対策Stage3に緩和 県内で感染症患者数が5,000人を超える
	2月 22日	「県独自の緊急事態宣言」の解除、「茨城版コロナNext」対策指針改定、対策Stage2に緩和
	4月 26日	感染拡大市町村の追加、対策StageをStage3に強化
	6月 7日	県全体のStageをStage2に移行
	6月 10日	県内で感染症患者数が10,000人を超える
	7月 27日	県の対策StageをStage3に強化
	8月 3日	「県独自の緊急事態宣言」の発令、対策StageをStage4に強化
	8月 5日	「国のまん延防止等重点措置」の適用
	8月 12日	「国のまん延防止等重点措置」の区域を追加
	8月 16日	「県独自の非常事態宣言」の発令
	8月 27日	「県独自の非常事態宣言」の延長
	8月 28日	県内で感染症患者数が20,000人を超える
	9月 9日	「県独自の非常事態宣言」と「国の緊急事態宣言」の延長
	9月 16日	「県独自の非常事態宣言」の解除
	9月 22日	県全体のStageをStage3に緩和
	9月 27日	県全体のStageをStage2に緩和
	10月 7日	県全体のStageをStage1に緩和
	12月 23日	「茨城版コロナNext」の改定
	12月 31日	県内の感染症患者数が24,489人となる

(4) 笠間市の状況

市民の感染症患者数

年 月		新規感染症 患者数	累計
2020年7月10日		市民のコロナ感染症患者を 初確認	
2020年	7月	3名	
	8月	2名	5名
	9月	2名	7名
	10月	0名	7名
	11月	10名	17名
	12月	20名	37名
2021年	1月	47名	84名
	2月	9名	93名
	3月	20名	113名
	4月	25名	138名
	5月	41名	179名
	6月	1名	180名
	7月	12名	192名
	8月	153名	345名
	9月	64名	409名
	10月	4名	413名
	11月	0名	413名
	12月	0名	413名

市内でのコロナ感染症患者初確認は7月10日

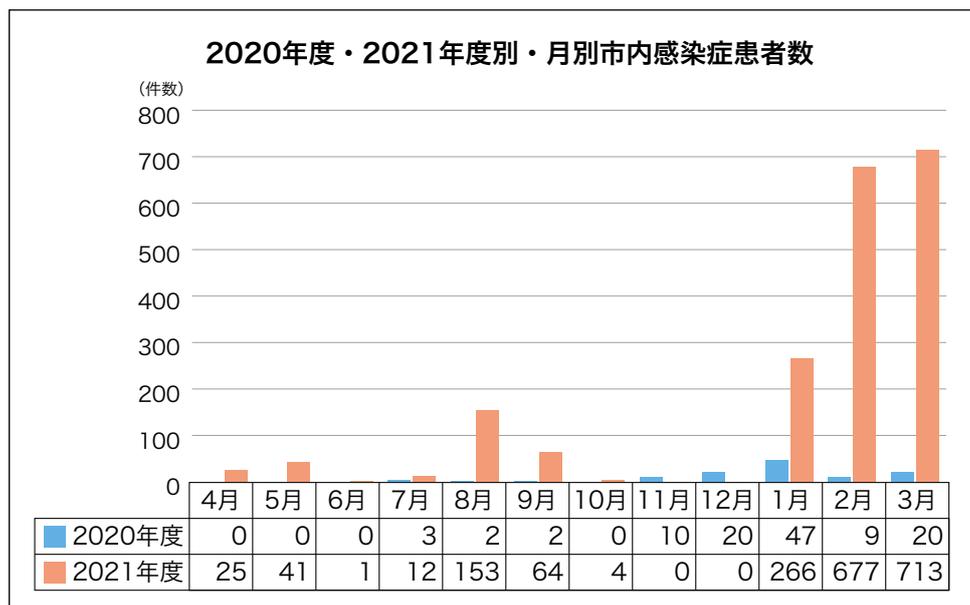
3月15日に感染症患者数が100名となる

8月3日に感染症患者数が200名となり、8月22日に300名を超える

9月17日に感染症患者数が400名を超える

12月31日現在、市内感染症患者数413名

※2022年3月末現在、2,069名



(1) 市の対策体制

● 笠間市新型コロナウイルス感染症対策本部

2020年2月4日から2021年12月までで、47回開催

構成メンバー：市長、副市長、教育長、各部長等、会計管理者、各支所長

市の感染症対策や経済支援、公共施設等の対応、ワクチン接種事務など、総合的な対策について協議

笠間市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 開催状況

※場所はすべて笠間市役所内

回	年月日	主な協議事項
第1回	2020年2月4日	新型コロナウイルス感染症への対応
第2回	2月28日	小中学校の休校、職員の休暇体制
第3回	3月2日	小中学校一斉休校の対応状況
第4回	3月11日	市役所各部署の対応、臨時休校の対応、今後のイベント等、業務継続計画
第5回	3月16日	緊急対応策
第6回	3月19日	市独自地場産業支援策、施設利用制限の緩和等
第7回	3月19日	施設利用制限の緩和等
第8回	3月23日	スポーツ少年団活動の再開、部活動再開と自主学習の場の提供
第9回	4月2日	今後の施設管理方針、留意事項
第10回	4月7日	国の緊急事態宣言、小中学校の対応
第11回	4月17日	緊急事態宣言を受けた市の対応
第12回	4月17日	緊急事態宣言に伴う市役所業務体制
第13回	4月30日	県内発生状況、小中学校・市内公共施設の取り扱い、感染防止対策の新たな取り組み
第14回	5月7日	県内感染症患者状況、緊急事態宣言の延長、連休中の対応
第15回	5月15日	社会活動再開に向けた対応
第16回	5月15日	社会経済活動再開に向けた市対応方針案
第17回	5月22日	社会経済活動再開に向けた市対応方針の策定、分散登校
第18回	6月5日	県の社会経済活動再開の基本方針、各部の対応
第19回	6月18日	【経済対策】経済対策懇談会、経済対策事業、イベント・学校生活ガイドライン
第20回	6月25日	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
第21回	7月6日	茨城版コロナNext（コロナ対策指針）改定による市の対応
第22回	7月10日	感染症対策の強化
第23回	7月10日	感染症患者発生における対応
第24回	7月15日	感染症患者発生における対応
第25回	7月30日	水戸市感染状況を受けての市の対応
第26回	8月19日	「茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例」案と市の対応
第27回	8月31日	感染症患者発生への対応
第28回	9月16日	11月末までの催事の開催制限等
第29回	10月1日	感染症に関する今後の取り組み、インフルエンザ流行への体制整備
第30回	11月13日	市内での発生、注意喚起
第31回	2021年1月8日	市内の発生状況
第32回	1月15日	県独自の緊急事態宣言

回	年月日	主な協議事項
第33回	1月25日	市内感染症患者の状況
第34回	3月24日	感染症患者の発生状況
第35回	5月17日	県の感染拡大地域指定、施設の利用状況
第36回	5月28日	職員の感染、ワクチン接種状況
第37回	7月30日	緊急事態宣言発令時の対応
第38回	8月3日	県独自の緊急事態宣言による市の体制、感染状況、感染対策の強化
第39回	8月13日	感染状況、公共施設等の対応
第40回	8月16日	市の対策強化
第41回	8月20日	緊急事態宣言に伴う市の対応、ワクチン接種状況
第42回	8月26日	夏休み明けの学校対策、公共施設等の対応
第43回	9月8日	緊急事態宣言に伴う施設等の取扱い、指定管理者導入施設の支援金
第44回	9月10日	市内感染状況、県独自の非常事態宣言の延長と市の対応
第45回	9月16日	市内感染状況、県独自の非常事態宣言の解除に伴う公共施設等の対応、自宅療養者支援
第46回	9月28日	市内感染状況、緊急事態宣言が解除された場合の公共施設等の対応
第47回	11月26日	市における今後のイベント開催や施設利用等の方針

● 新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム

新型コロナワクチン接種の初期体制の構築のため、2021年2月1日に、保健福祉部内に設置（11名体制 ※専任職員5名、兼任職員6名）
 同年5月1日付けで健康増進課内に移行し7名体制（専任職員6名、兼任職員1名）
 ワクチン接種体制の構築、ワクチン接種の周知、集団接種等の実施

● 感染症対策室

新型コロナウイルス感染症の総合的な対策をよりいっそう進めるため、2021年11月1日に、ワクチン接種プロジェクトチームを感染症対策室に再編（7名体制 ※すべて専任職員）

(2) 市の対応

① 施設等の休館・利用停止について

（2021年12月までで最も強い制限を行った内容）

施設名	最も強い利用制限内容	期間
小・中・義務教育学校	休校	2020年3月2日～5月31日
学校施設開放事業（大原小・友部中・岩間中）	利用中止	2021年8月16日～8月31日
屋内体育施設（体育館・武道場等）	利用中止	2021年8月16日～9月26日
屋外体育施設（グラウンド・テニスコート等）	利用中止	2021年8月16日～9月26日
学校体育施設開放事業（小中義務教育学校・かさまこども園・旧箱田小）	利用中止	2021年8月16日～9月26日
市立歴史民俗資料館	休館	2021年8月16日～9月26日
岩間体験学習館「分校」	利用中止	2021年8月16日～9月26日
市立図書館3館	休館	2021年8月16日～9月26日
市立公民館3館及び稲田公民館	休館	2021年8月16日～9月26日
こども園・保育所	通常	—
笠間市児童館（笠間キッズ館）	休館	2021年8月16日～9月26日
子育て支援センター	休館	2021年8月16日～9月26日
児童クラブ	通常	—
いこいの家はなさか	休館	2021年8月16日～8月31日

施設名	最も強い利用制限内容	期間
消防・救急	通常(多目的ホール・議場の利用中止)	2021年8月16日～8月31日
市立病院	通常	—
地域交流センターともべ(Tomoa)	休館	2021年8月16日～9月30日
地域交流センターいわま(あたご)	休館	2021年8月16日～9月30日
地域交流センター(笠間地区) ※2021年10月1日～	通常	—
民間交番	利用中止	2021年8月18日～9月26日
笠間広域斎場 やすらぎの森	一部利用制限(定員の1/2以内)	2021年8月16日～8月31日
ゆかいふれあいセンター	休館	2021年8月16日～8月31日
笠間クラインガルテン	一部利用制限(BBQ・ゲストハウス・クラブハウス利用中止)(直売所休業)(薬膳中華レストラン神農和休業)	2021年8月16日～8月31日
石の百年館	休館	2021年8月14日～9月20日
北山公園(※BBQ場・管理事務所)	利用中止(管理事務所・BBQ・オートキャンプ施設)※公園は利用可	2021年8月16日～8月31日
笠間の家	利用中止	2021年8月16日～9月26日
かさま歴史交流館井筒屋	休館	2021年8月16日～9月19日
あたご天狗の森(フォレストハウス)	利用中止	2021年8月6日～9月19日
道の駅かさま ※2021年9月16日～	一部利用制限(入場制限)	2021年9月16日～9月30日
福ちゃんの森公園	休館	2021年8月16日～8月31日
筑波海軍航空隊記念館	休館	2021年8月16日～9月26日
笠間つつじ公園	利用中止	2020年4月25日～5月24日
笠間工芸の丘	利用中止	2020年4月18日～5月17日
笠間芸術の森公園	一部利用制限(あそびの杜の利用停止)	2021年8月16日～9月26日
ムラサキパークかさま	利用中止	2021年8月18日～8月31日
総合公園	利用中止	2021年8月16日～9月26日
笠間中央公園 ※2021年10月1日～	通常	—
都市公園の遊具	利用中止	2021年8月18日～9月26日
観光駐車場・駅前駐車場	通常	—

② 学校等の対応

・オンライン学級活動や分散登校の実施

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の期間に、臨時休校時にはタブレットでのオンライン学級活動・リモート学習及び地区別の分散登校を実施

③ 感染症対策を徹底したうえで開催された主なイベントなど

イベント等名	期日	場所
笠間つつじまつり	第50回:2021年4月17日～5月9日	笠間つつじ公園
笠間の陶炎祭(ひまつり)	第40回:2021年4月29日～5月5日	笠間芸術の森公園
笠間市戦没者追悼式	2020年8月8日 2021年8月7日	笠間公民館
笠間市長杯スナッグゴルフ大会	第6回:2020年9月5日 第7回:2021年5月12日	穴戸ヒルズカントリークラブ
Web版かさま新栗まつり	2020年10月1日～11月30日 2021年10月22日～2022年2月28日	※インターネットサイト
秋の食彩笠間フェア	2020年10月15日～11月30日	ホテルメトロポリタン エドモント(東京都千代田区)

イベント等名	期 日	場 所
笠間の菊まつり	第113回：2020年10月17日～11月23日 第114回：2021年10月23日～11月23日	笠間稲荷神社ほか
新栗収穫祭	2020年10月18日	地域交流センターいわま 「あたご」
かさま陶芸の里ハーフマラソン大会	第15回：2020年12月20日 第16回：2021年12月19日	笠間芸術の森公園
新春初寮市	2021年1月8日 2022年1月2日～4日	笠間芸術の森公園
成人式	2021年1月10日 2022年1月9日	市民体育館
「道の駅かさま」オープニングセレモニー	2021年9月16日	道の駅かさま
新栗マルシェ	2021年10月2日～3日	道の駅かさま
ふるさとまつりinかさま	2021年11月20日	友部公民館
第4回日本スケートボード選手権大会	2021年12月9日～12日	ムラサキパークかさま

※中止した主なイベント

第49回 笠間つつじまつり（2020年）、第39回 笠間の陶炎祭（2020年）、かさま新栗まつり（2020年、2021年）、県下中学校交歓笠間市駅伝大会（2020年）

④ その他

● 緊急時（消防、救急搬送、災害など）の感染症対策強化

新型コロナウイルス感染症対策基金から、新型コロナ対策救急車両整備事業で高規格救急車両を購入（48,457,000円）。

また、避難所開設時のコロナ対策方針を策定。

● 市職員の勤務体制の対応

【在宅勤務・リモートワーク】

2021年12月までで、のべ92名の職員が実施

【子連れ出勤】

2020年3月に、のべ7名の職員が実施

3 各種支援について

(1) 国・県の支援策

① 特別定額給付金事業（国）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しつつ、迅速かつ的確に家計への支援を行うために実施。

【給付対象者】

- ・基準日（2020年4月27日）に住民基本台帳に記録されている方（外国人を含む）。
- ・受給権者は、その方が属する世帯の世帯主。

【給付額】

- ・給付対象者一人につき10万円

【給付金申請】

- ・「郵送申請方式」または「オンライン申請方式」により申請。申請期限は2020年8月18日。

【給付実績】

- ・給付金額合計75億1,930万円

② 事業者向け給付金

● 持続化給付金

新型コロナの影響で売上が減少している事業者に対し、事業継続のための給付金を交付
（中堅・中小企業、小規模事業者）上限200万円
（フリーランスを含む個人事業者）上限100万円

● 雇用調整助成金

休業手当により雇用を維持する事業者へ交付

● 家賃支援給付金

売上減少の事業者に対し、地代・家賃の負担を軽減するために給付
（法人）最大600万円 （個人事業者）最大300万円

● 一時支援金、月次支援金

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの影響緩和のため、中小法人・個人事業者へ交付
※その他、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金や、いばらきアマビエちゃん事業者登録協力金、営業時間短縮要請協力金など

③ 特別給付金

臨時特別給付金一覧

期間	事業名	主な対象者	支給額	実績
2020年 5月 ～ 2021年 3月	子育て世帯への 臨時特別給付金	児童手当（2020年4月分） の受給者	対象児童1人につき 1万円	受給者：5,191人 児童数：8,839人 （支給額：88,390,000円）

期間	事業名	主な対象者	支給額	実績
2020年7月 ～ 2021年3月	ひとり親世帯 臨時特別給付金	・児童扶養手当（2020年6月分）の受給者 ・公的年金等受給による児童扶養手当支給停止者 ・新型コロナの影響による家計急変者	基本給付：1世帯5万円 +第2子以降3万円 追加給付：1世帯5万円	基本給付：614人 追加給付：241人 （支給額：51,660,000円）
2020年12月	ひとり親世帯 臨時特別給付金 （再支給）	基本給付の再支給	基本給付：1世帯5万円 +第2子以降3万円	基本給付：614人 （支給額：39,610,000円）
2021年4月 ～ 2022年3月	低所得の子育て世帯 生活支援特別給付金 （ひとり親世帯分）	・児童扶養手当（2021年4月分）の受給者 ・公的年金等受給による児童扶養手当支給停止者 ・新型コロナの影響による家計急変者	対象児童1人につき5万円	受給者：550人 （支給額：40,300,000円）
2021年6月 ～ 2022年3月	低所得の子育て世帯 生活支援特別給付金 （その他世帯分）	児童手当又は特別児童扶養手当（2021年4月分）の受給者で住民税が非課税 ・高校生等の養育者で住民税が非課税 ・新型コロナの影響による家計急変者	対象児童1人につき5万円	受給者：397人 （支給額：35,100,000円）
2021年12月～	子育て世帯への 臨時特別給付金 （先行給付金） （追加給付金）	・児童手当（2021年9月分）の受給者 ・高校生等の養育者 ・新生児の養育者	（先行給付金） 対象児童1人につき5万円 （追加給付金） 対象児童1人につき5万円	【先行給付金】 受給者：6,608人 （支給額：511,450,000円） 【追加給付金】 受給者：6,608人 （支給額：511,450,000円）
2021年7月	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	社会福祉協議会が実施する「総合支援貸付事業」の利用が終了したにもかかわらず、生活が困窮している世帯	単身 60,000円 2人 80,000円 3人以上 100,000円 ※最大6か月	受給者：16世帯 （支給額：2,280,000円）
2021年2月	住居確保給付金 （再支給）	住居確保給付金の利用が終了したにもかかわらず、生活が困窮している世帯	単身 34,000円 2人 41,000円 3～5人 44,000円 6人 48,000円 7人以上 53,000円 ※上限額（世帯）	受給者：3世帯 （支給額：342,000円）

(2) 市の支援策

① 生活支援（感染予防）

- マスクや除菌消臭液の配布など
- 除菌消臭液の配布（市民体育館、友部公民館、市民センターいわま、セルフ）
- マスクの配布（2020年4月～）

市場の衛生消耗品等の品薄状況と公共施設等の感染拡大防止のために、マスクを配布した。

[実績]

配布先	施設等数	配布数	配布時期
市内医療機関（医科）	37	4,200	2020年4月
市内医療機関（歯科）	36	3,600	2020年4月
休日・平日夜間診療	1	1,000	2020年4月
高齢者福祉施設	36	3,600	2020年4月
障がい者入所施設	2	400	2020年4月

配布先	施設等数	配布数	配布時期
その他福祉施設	52	3,700	2020年4月
放課後児童デイ等	8	400	2020年4月
保育所・幼稚園	15	2,000	2020年4月
児童クラブ	20	2,000	2020年4月
妊婦	1,858	4,600	2020年4～11月
美容所	44	2,200	2020年6月
理容所	7	350	2020年6月
その他	6	3,000	2020年6月～
計		31,050	



マスクの配布



除菌消臭液の配布

● 感染症患者であって自宅療養している方に対する支援（2021年9月～）

新型コロナウイルスに感染し自宅療養している感染症患者及びその同居家族へ、食料品や日用品、衛生用品等を無償で支援（支援件数：307件）

※2022年3月31日現在

● 自宅療養される患者に対する健康・生活等電話相談

自宅で療養されている患者に対し、保健師等が電話による相談支援を行いました。2022年3月31日現在、445件実施。



自宅療養者への支援

● PCR検査

期間（2021年）	日数	検査数	対象者
2月15日（月）～25日（木）	8日	2,077	エッセンシャルワーカー
5月17日（月）～31日（月）	15日	850	市内在住・在勤・在学者
6月10日（木）～16日（水）	7日	81	市内在住・在勤・在学者
8月14日（土）～19日（木）	6日	302	市内在住・在勤・在学者
8月28日（土）～31日（火）	4日	201	市内在住・在勤・在学者
9月 8日（水）～12日（日）	5日	197	市内在住・在勤・在学者

※2020年4月には、県中央保健所で開始されたPCR検査に、市立病院の稲葉医師を派遣



PCR検査

② 経済的支援（主なもの）

事業者支援

● デリバリー活性化推進事業（2020年8月～12月）

交通事業者及び飲食事業者の支援として、商工会・JA・タクシー事業者・市がコンソーシアムを組成・連携し、飲食店テイクアウト商品や直売所野菜詰合せのタクシーによる宅配事業を実施

● 旅館・ホテル等利用多角化促進事業（2020年8月～2021年3月）

市内の旅館・ホテルにおける日中の空き部屋の多角的利用を図るため、市内の事業者等にリモートワークの会場としての活用を促進

● 地域交通継続協力金事業（2020年度、2021年度）

市民や来訪者の移動手段の確保を図るため、貸切バスやタクシー事業者等に協力金を交付し事業継続を支援

● 指定管理者支援金（2020年度）

● 笠間飲食店緊急応援パスポートの発行

パスポート提示で対象店舗全メニュー10%オフ

● 笠間市事業継続給付金

営業時間短縮要請及び不要不急の外出・移動自粛要請により影響を受けた事業者に対し、10万円の給付金を交付

● 中小企業等サポート補助金

衛生用品経費や売上向上経費、業態転換経費に対し、最大30万円を補助

● プレミアム付商品券の販売や新生児商品券のプレゼント

● 緊急就職面接会の開催（2021年3月8日）



笠間飲食店緊急応援パスポート（告知チラシ）

● 笠間の地酒魅力応援事業（2021年11月1日～2022年1月31日）

市内酒蔵と宿泊事業者への支援

※茨城県に「まん延防止等重点措置」が適用されたことから、2月28日まで延長

● 家賃支援補助金（市独自）

国の家賃支援給付金の対象とならない中小企業や個人事業主への補助

● イベント開催サポート事業

人件費を除くイベント開催経費(上限20万円)を補助

● かさま応援割
(笠間市コロナNEXT誘客促進事業、笠間市宿泊促進事業)

市内施設に割引料金で宿泊可能(いばらき応援割併用可)

● 貸切バス利用促進事業

貸切バスの利用があった際に、バス事業者へ補助(上限40万円)

● 農産物・加工品インターネット販売支援

	支援件数
2020年	75件
2021年	53件



笠間の地酒魅力応援事業



かさま応援割



農産物・加工品
インターネット販売支援

● いちご生産者支援事業(2021年3月~4月)

笠間産いちごを、市内幼稚園・保育園・放課後児童クラブへ提供



● 笠間市宿泊事業者支援事業(2020年度)

事業継続のための支援金を給付

● 花き生産者支援（2020年4月、2021年9月）

市内生産の花き（アルストロメリア、ガーベラ）を、市職員や市内企業等へ販売

	販売束数	販売金額
2020年	約600束	約34万円
2021年	約250束	約9万円



生活者支援

● KASAMA BOXお届け

市内農産物等を詰め合わせた「KASAMA BOX」を、大学生や生活困窮者、ひとり親、妊婦に無料配布

	大学生	生活困窮者	ひとり親	妊婦
2020年	848名	382名	160名	177名
2021年	491名			



● 子育て世帯緊急支援事業（2021年2月～3月）

大学等への進学に伴い必要となるPC端末の整備や在宅時間を活用した資格・免許の取得を支援（購入費や受講料等の一部補助）

● 子育て世帯リフレッシュ促進事業（2021年2月～3月）

在宅等の長期化によりストレスを抱える子育て世帯のリフレッシュを図るため、ETOWA KASAMAの特別宿泊プランを提供

③ 新型コロナウイルス感染症対策基金を設置

一般の方や個人・法人企業などからの寄附などをもとに設置

● 2020年度積立額：63,217,312円

（新型コロナウイルス対応寄附金、ふるさとづくり寄附金、政務活動費交付金及び議会各委員会視察研修費等の減額分、特別職及び管理職手当減額分）

● 2021年度積立額：18,563,500円（12月分まで）

（新型コロナウイルス対応寄附金、ふるさとづくり寄附金）

※救急車購入

④ その他（主なもの）

● 医療従事者応援エール募金 （2020年12月～2021年1月）

新型コロナウイルス感染症患者の治療や感染拡大防止を最前線で行う、県立中央病院を支援するため、市と市社会福祉協議会が連携して募金活動を実施
募金総額：約355万円

● 医療機関支援 コロナ禍に診療に取り組む医療機関を支援 （2020年12月～）

発熱患者に対応可能な「診療・検査医療機関」として指定された、市内18医療機関を支援するため、笠間市医師会及び茨城県立中央病院に、笠間市から医療物資（ディスポエプロン・グローブ・ヘアキャップ・フェイスシールド・N95マスク・ディスポ等）をおくりました。

また、市内36歯科診療所に、消毒用エタノール・除菌シート・フェイスシールド・ディスポグローブ・サージカルマスクをおくりました。



医療機関支援

● 図書館電話予約貸し出し

直接電話で貸し出しを予約し、ウォークスルーでの受け取り（利用者151人、貸出数618点）
（電話予約日）2020年5月8日、9日、13日、15日
（受取日）2020年5月12日、14日、16日

● 電子図書館の開設、看護師・介護士に関する資料の充実

電子書籍：3,169点
看護師・介護士に関する図書：1,012点

● 電子入札の原則全案件への対象拡大（2021年4月～）

● 電子契約の開始（2021年7月～）

● 新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方への地方税や国保税等の減免・徴収猶予の実施

● ごみ持ち込みやクリーン作戦の中止

● バーチャルデジタルサイネージの設置 （道の駅かさま、JR友部駅、JR岩間駅）

● 笠間の栗PR事業

● 茨城県への業務支援（2020年4月～）

保健所業務がひっ迫する中、市保健師4名が述べ18日間、中央保健所において、在宅療養者の健康観察等の支援にあたった。



バーチャルデジタルサイネージ（道の駅かさま）

また、事務職2名が、延べ10日間、県庁の電話応対等の業務支援を行った。

● 水戸保健医療圏地域検査センターへの協力（2020年8月～2021年12月）

感染者の増加により、水戸保健医療圏において水戸市が水戸保健医療圏地域検査センターを設置した。その運営に、笠間市を含む近隣の3市3町が輪番で協力した。

● 笠間市新型コロナウイルス感染症講演会

日 時：2020年9月29日（火）

講 師：水戸市保健所長 土井 幹雄先生

講演内容：新型コロナウイルスとどう向き合いますか？
～「共存」を視野に～

参加人数：166名（会場来場者）・24名（zoom参加者）



笠間市新型コロナウイルス感染症講演会

(3) 個人や企業、団体等からの寄附

新型コロナウイルス対応寄附金（一般の方や個人・法人企業などからの寄附）

	件 数	寄付金額
2020年度	27件	12,658,271円
2021年度（12月まで）	6件	1,041,000円

物品寄附（主なもの）

- ・マスク、手作りマスク、体温計、消毒液、アルコールハンドジェル、パーテーション、空気清浄機、ドアオープナー、あまびえ絵画など



パーテーション



空気清浄機



ドアオープナー



あまびえ絵画

(4) 国際交流の中での取り組み

● 台湾からマスク寄贈 (2021年9月)

寄贈いただいた16,000枚
市内小中学校等に配布

● 市からエチオピアへの支援など



4 市内事業者等の対応について

(1) 市内事業者等の取り組み

● テイクアウト笠間

テイクアウトできるお店をポータルサイトで紹介



● かさまうつわ商店 (笠間焼オンラインストア)

笠間焼協同組合では、中止となったさまざまなイベントに代わる企画として、6～8月と10～11月に笠間焼のインターネット販売「かさまうつわ商店」を実施。サイトでは作家紹介動画なども入り、作家や作品をより深く楽しめる企画となりました。



● WEB版かさま新栗まつり

9月下旬～10月上旬には、笠間の栗を思う存分楽しめる人気イベント「かさま新栗まつり」が開催されますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。そこで、日本有数の栗の産地「笠間」ならではの栗商品を自宅でも楽しめるよう、栗を使ったお菓子や料理、お取り寄せ可能な人気商品を紹介するサイトを期間限定でオープンしました。



2020年度



2021年度

(2) 営業時間短縮等に対する市内飲食店舗の感染防止対策見回り

● 茨城県の営業時間短縮要請協力金にかかる時短実施店舗の感染防止対策の見回り

2021年5月に247店舗、同年7月に170店舗の見回りを実施

確認事項

- ① アクリル板等のパーテーションの設置状況
(座席の間隔を1m以上空けられない場合)
- ② 手指消毒の徹底
- ③ 換気の徹底
- ④ 飲食時以外のマスク着用の呼びかけ
- ⑤ 感染防止対策宣誓書の掲示及びその他宣誓事項の遵守
- ⑥ カラオケ時の感染予防対策の徹底

5 ワクチン接種

(1) 接種状況 (2021年12月末現在)

● 新型コロナワクチン接種状況 (2021年12月27日時点)

年齢別接種率 (接種対象者) と比較

回数		12-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳
笠間市	1回目	83.20%	79.98%	81.76%	84.98%	91.72%	89.95%
	2回目	81.69%	79.29%	81.18%	84.51%	91.35%	89.79%
全国	1回目	75.38%	76.36%	77.90%	82.74%	90.12%	90.38%
	2回目	73.72%	75.30%	77.04%	82.10%	89.62%	90.02%
茨城県	1回目	81.32%	79.90%	81.00%	85.34%	92.20%	89.80%
	2回目	79.91%	79.05%	80.29%	84.83%	91.81%	89.54%

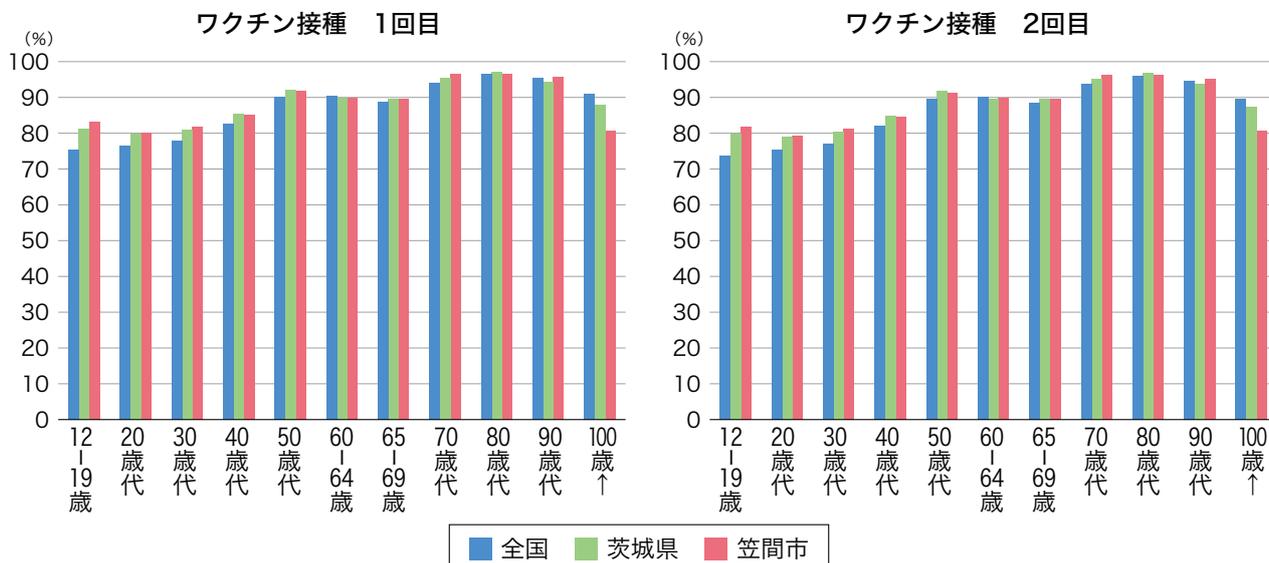
回数		65-69歳	70歳代	80歳代	90歳代	100歳↑	計
笠間市	1回目	89.70%	96.59%	96.66%	95.78%	80.65%	89.21%
	2回目	89.44%	96.18%	96.18%	95.26%	80.65%	88.63%
全国	1回目	88.85%	93.92%	96.52%	95.29%	91.03%	86.30%
	2回目	88.59%	93.62%	96.03%	94.53%	89.71%	85.56%
茨城県	1回目	89.67%	95.40%	97.13%	94.28%	87.87%	88.73%
	2回目	89.45%	95.14%	96.69%	93.62%	87.25%	88.10%

接種回数

	接種合計	1回目	2回目
笠間市	121,723回	61,060回	60,663回

※国(デジタル庁等)のVRS等により自治体ごと(都道府県,市区町村別)のワクチン接種状況をまとめた実績データより
 ※集団の人口データ: 総務省が公表している「住民基本台帳に基づく人口」2021.1.1現在

全国・茨城県・笠間市年齢階級別コロナワクチン接種率



● 12歳～64歳・65歳以上 年代別ワクチン接種状況 (2021年12月27日時点)

実績：2021年12月27日VRSデータ、人口：2021年1月1日住民基本台帳による。

1. 12歳～64歳ワクチン接種状況

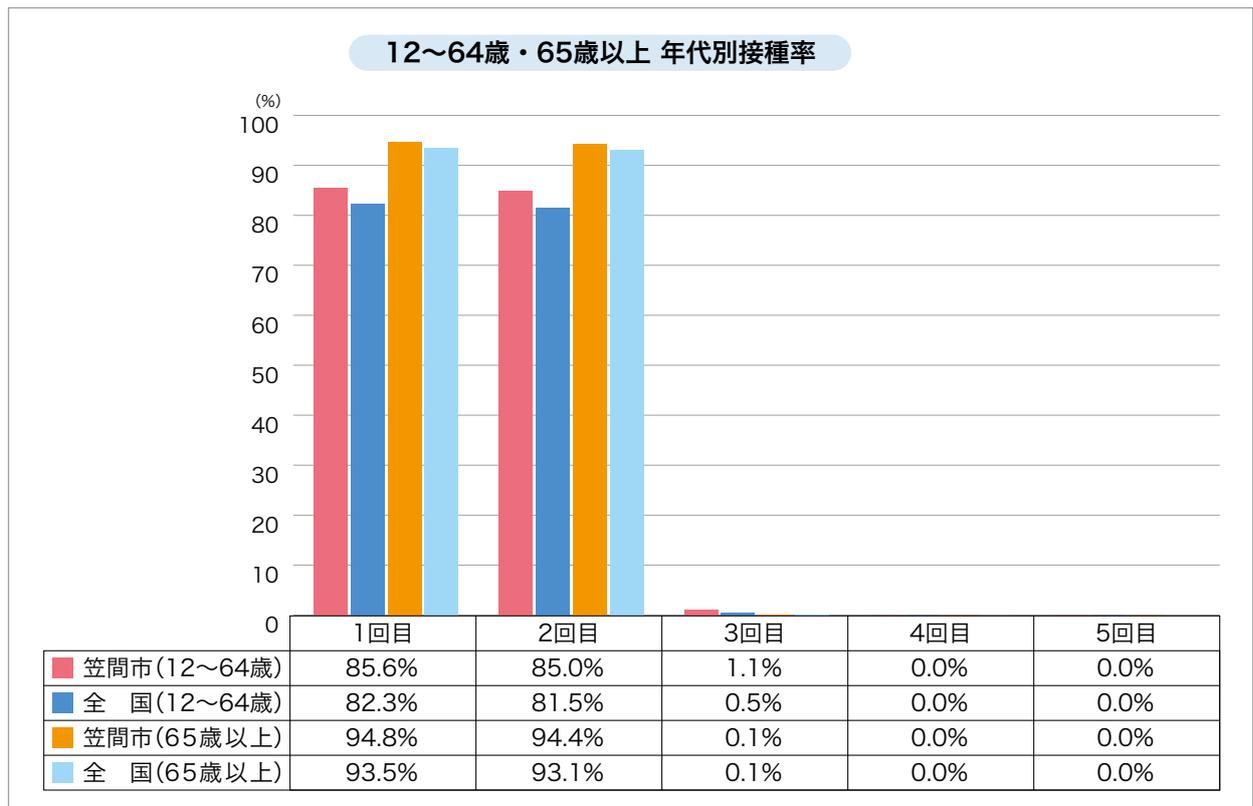
	笠間市	率	全国	率
1回目	38,189回	85.6%	64,869,869回	82.3%
2回目	37,928回	85.0%	64,232,781回	81.5%
3回目	474回	1.1%	431,843回	0.5%
4回目	0回	0.0%	0回	0.0%
5回目	0回	0.0%	0回	0.0%
合計	76,591回	—	129,534,493回	—

【対象者数】笠間市：44,635人／全国：78,849,722人

2. 65歳以上ワクチン接種状況

	笠間市	率	全国	率
1回目	22,566回	94.8%	33,446,690回	93.5%
2回目	22,473回	94.4%	33,314,025回	93.1%
3回目	24回	0.1%	35,930回	0.1%
4回目	0回	0.0%	0回	0.0%
5回目	0回	0.0%	0回	0.0%
合計	45,063回	—	66,796,645回	—

【対象者数】笠間市：23,809人／全国：35,767,994人



(2) 集団接種

実施期間：2021年5月23日～11月27日

会場：友部公民館・笠間公民館・岩間公民館・笠間市民体育館・保健センター

実績：協力医療機関 27医療機関

実施回数190回

接種回数44,154回

◎協力医療機関

友部地区	石橋内科医院	笠間地区	粟屋医院	岩間地区	梅里クリニック
	茨城県立こころの医療センター		いけうち医院		介護老人保健施設 あたごナーシングビル
	茨城県立中央病院		石本病院		高瀬医院
	笠間市立病院		介護老人保健施設すみれ		にしほり整形外科
	てらだ内科消化器科		佐藤医院		本多内科・循環器科医院
	友部セントラルクリニック		河村医院		
	ねもとクリニック		下田整形外科		
	塙医院		たかだ脳神経外科・内科クリニック		
	常陸クリニック		柳橋医院		
	ふじえだクリニック				
	武藤医院				
	山本内科小児科医院				
	わたなべ整形外科				



体調チェック



予診



ワクチン接種



接種後経過観察

(3) 個別接種

実施期間：2021年5月下旬～

実績：協力医療機関 24医療機関

接種回数52,584回

うち 医療従事者・高齢者福祉施設入所者従事者先行接種 10,944回

妊産婦優先接種 176回

受験生優先接種 2,047回

海外留学生優先接種 6回

平日夜間診療時接種 600回

◎協力医療機関

友部地区	あさひクリニック	笠間地区	いけうち医院	岩間地区	梅里クリニック
	あやか内科クリニック		石本病院		高瀬医院
	石橋内科医院		笠間耳鼻咽喉科		本多内科・循環器科医院
	茨城県立こころの医療センター		笠間中央クリニック		
	茨城県立中央病院		神里医院		
	笠間市立病院		河村医院		
	立川記念病院		佐藤医院		
	ねもとクリニック		下田整形外科		
	常陸クリニック		たかだ脳神経外科・内科クリニック		
	ふじえだクリニック		メディカルケアクリニックかさま		
山本内科小児科医院					

(4) 県大規模接種

実施期間：2021年6月25日～11月30日

会場：茨城県庁福利厚生棟外

実績：9,580回



県大規模接種

(5) 市内企業（職域接種）

JT・キヤノン・商工会 2,014回



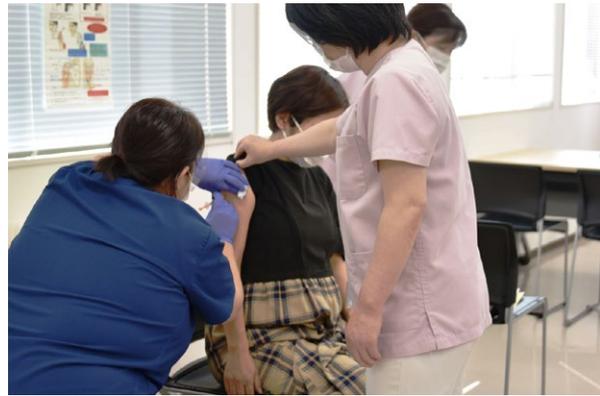
日本たばこ産業株式会社の職域接種

(6) その他

国大規模・市外県外医療機関、職域接種 15,405回



エッセンシャルワーカー向け接種



妊婦向け接種



受験生向け接種



※ワクチン接種シミュレーション

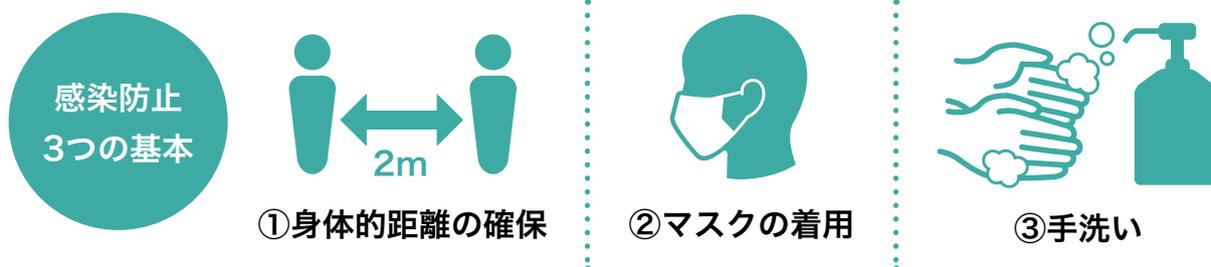
2021年2月12日、地域医療センターかさまで、新型コロナワクチン接種の第1回シミュレーションを実施

※看護師人材バンク登録者数

38名（電子申請23、電話12、ナースバンク3） ワクチン接種従事期間：～2022年3月31日

6 新しい生活様式の中での取り組み

(1) 一人ひとりの基本的感染対策



- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との距離が十分とれない場合は、症状がなくてもマスク**を着用する。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意**する。
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- **手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）。

※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ・ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ・ 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- 身体的距離の確保
- **「3密」の回避（密集、密接、密閉）**
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画を立てて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 対面での打ち合わせは換気とマスク

笠間市
新型コロナウイルス感染症対策記録集

2022年3月

発行者

茨城県笠間市 市長公室 秘書課 広報戦略室



笠間市

KASAMA CITY